

# 岩手教区報

第338号  
 立教184年2月1日  
 天理教岩手教務支庁  
 盛岡市馬場町3-40  
 TEL 019-622-7962  
 FAX 019-623-9597



## 「柔らかな頭で」 主事 中田祥浩

「歳を取ると頭が固くなる」とよく言われる。過日、中学生の息子に勉強を教えていた時のこと。ある数学の問題に思いのほか手こずってしまった。頭を柔らかくし、視点を変えたら直ぐに解けたものの、件の言葉の通りかと、五十路の我が身に焦りを感じた。

脳科学の見地からすると、加齢による脳の衰えはなるとする研究者も多い。精神科医の和田秀樹氏によると、年齢によって変わるものは脳そのものより「感情」だという。人は年齢を重ねると、それまでの生き方や考え方に応じた個々の「型」というものが固まり、それによって融通が利かなくなり、頑なに固まる。それによって融通が利かなくなり、頑なに固まる。それによって融通が利かなくなり、頑なに固まる。

中高生の頃、なぜ数学を勉強するのか疑問に思ったものだ。+×÷といった四則計算ならまだしも、微分積分や数列、証明問題など一般の生活には何ら関係ないのではと思った。しかし、大人になってその意味がよく分かった。数学は様々な知識や公式を道具として使い、柔軟かつ多方面から考える学問であり、それは人生の諸問題を解決する力を養うのに大いに役立つのだ。それゆえ、このところ数学を勉強し直す社会人が増えており、大人向けの学習書も書店にあまた並ぶ。

「兵に常勢なく、水に常形なし」とは、中国は春秋時代の兵法書『孫子』の一節。戦ではその場の状況に合わせて、形なき水のように柔軟な戦い方を心がけよとの意味だ。この言葉は戦のみならず様々な問題解決にも当てはまり、臨機応変な対応の大切さが分かる。

「こうあるべき」といった、型や定義にこだわっていると、新たな展開は見えてこない。これまでの事は一旦わきに置いてゼロベースで物事を考えれば、新たな発想も芽生えよう。昨年来、新型コロナウイルスの感染拡大のため、教内はもとより世の中の多くの行事や活動が中止を余儀なくされた。未だ終息が見えぬ今、大きな変換や舵切りが求められている。前例や慣例に囚われることなく、柔軟な頭で物事を見つめ考えるところに、今後のあり方が見えてくるのではないか。

今年には教内行事全てを中止とするのではなく、本来の開催意義を再確認し、今できる形や方法を考えて行うようご指導頂いている。となれば、尚一層の柔軟な対応と企画力が求められよう。

頭が固くなりつつある自分自身、柔軟さを磨くためにも、まずは息子と一緒に数学を勉強し直したい。



### 「何を行ったか」

作家の加賀乙彦氏は、或る文章の中で「人は自分の境遇や能力に応じて、自分に納得のいく生き方をすればよく、小さな趣味でもいい、仕事でも子育てでもいい、それをすることが、その人にとって喜びであるなら、そういう行為を積み重ねることが満足のいくものならそれは生きがいだろう。人は何を持つかではなく、何をしたかである」という意味の事を述べている。

私の高校時代からの親しい同級生にY君という友人がいる。彼は京都府立医科大学に入り、卒業後は米国の名門校ハーバード大学とカリフォルニア大学へ留学し、以後ドイツのゲルツブルグ大学の客員教授として貴重な経験を、帰国する時には整形外科医として卓越した技術

を身につけ、又、専門のリハビリテーション医学を持ち帰り、日本における発展に貢献することになる。83歳を越した今も看護保険大学校長として、又京都府医療審議会会長、京都府立医科大学名誉教授など数多くの現役の職責の他、今尚、研究に専念しながら、これまでに修得した彼の成果を医療を志す若い人たちに還元することが我が使命と心得て、又、疾患治療などを中心に彼の著書、学術書も95冊に及んでいる。

さて、3年前、多忙を極める彼に電話を掛けた。実は私の家内がたまたま転んだ時に、頸椎を損傷したのが原因だったのか、突然、歩行困難となった。そこで専門家である彼のアドバイスを求めた。彼は、様々な状態を検討し手術を勧めた。更に「この際なにか力になりたい」といって、岩手医大の教授や執刀医の医師方に「小生の同級生中田俊次夫人です。よろしくご高診、ご加療を願いたい」という内容の文書を、自分の肩書、立場を明記し送ってくれたのである。医大の教授方も書面を見て丁寧な返信を送られていた。有難いことに、手術、施術も万事成功し、2か月間のリハビリ入院を経て、現在は歩行可能なご守護を頂いている。人を思いやる誠の心、ひたすら

真理を求めてやまない彼の生き方こそ、「何を行ったか」を基準に輝ける人生を歩む姿そのものである。

#### 行事中止のお知らせ

2月に予定されていた青年会「ユースワークショップ2021」は、中止となりました。

#### 行事予定

【2月分】

- 1日 少年会例会(12時)
- 2日 主事会(9時)
- 2日 役員会議(10時)
- 6日 里親啓発研修会(13時半)
- 6日 バレンタイン献血ひのきしん(10時 於イオンモール盛岡南)
- 13日 教区小史編集委員会(10時~14時)
- ” 婦人会例会(10時半)
- ” 青年会例会(18時)
- ” 学生担当委員会例会(19時)
- 21日 女子青年例会(10時)
- ” 道の教職員役員会(11時)



【教区・布教部ほか】

- 5月16日 祭儀式勉強会
- 5月30日 ひのきしんスクール  
「大人の発達障害」
- 6月2日 決算地方委員会
- 8月29日 教会長夫妻研修会
- 10月11日 雅楽初心者講習会
- 10月14～15日 剪定ひのきしん
- 12月16日 行事調整・予算会議
- 1月16日 予算地方委員会

【婦人会】

- 6月13日 後継者勉強会
- ※支部毎の活動を検討中

【青年会】

- 4月10日 支部リーダーカンファレンス
- 6月12～13日 移動例会
- 7月3～4日 東北ブロック大会(秋田)
- 10月23～24日 岩手っ子だよ!  
全員集合inおぢば
- 1月15日 オンラインセミナー
- 3月12～13日 ひのきしんデー

【少年会】

- 4月 教祖ご誕生祭まつり(各支部)
- 7月18日 少ひ隊教区練成会
- 日程未定 少ひ隊本部練成会
- 9月 わかぎの集い
- 10月31日 第48回岩手教区団総会

【学生会・学生担当委員会】

- 7月2日 学生層育成者講習会
- 8月29日 ワーク&トーク<sup>2021</sup>in福島
- 9月 道の学生ひのきしんDAY  
「まなびば」事前研修会
- 11月13～14日 高校生の集い「まなびば」
- 11月28日 第38回岩手教区学生会総会
- 2月 東北ブロックリーダー  
研修会(山形)
- 3月26～30日 春の学生おぢばがえり団体

【道の教職員の集い】

- 7月4日 第46回総会
- 8月10～12日 第42回夏の勉強会
- 10月 東北ブロック大会(青森)
- 10月17日 第14回陽気フォーラム

【災救援】

- 11月12日 支部幹部研修会(支庁舎清掃)

【厚生部】

- 4月29日 全教一斉ひのきしんデー献血
- 12月4日 クリスマス献血ひのきしん
- 2月5日 バレンタイン献血ひのきしん
- 3月2日 献血推進研修会

「東日本大震災慰霊祭」

【3月1日】

東日本大震災発生から10年の節目となる本年、岩手教区では、犠牲になられた方々の御霊様をお慰めすると共に、さらなる復興支援を誓い合う上から、「東日本大震災慰霊祭」を執り行います。寒さ対策の上ご参拝ください。

記

- 日時 3月1日(月) 11時30分
- 会場 宮古市田老 三王園地(ホテル「渚亭たろう庵」下)
- 内容 三陸沿岸道路 田老南ICより7分 田老真崎ICより10分 祭文奏上、代表者参拝、よろづよ八首奉唱
- ※2月10日までに支部ごとの参加者名簿を教区へ提出ください。



教務部

「法人実務」について

今年2月は、教会の予算を立てる月となっています。4月からの新年度の活動の計画立案と共に、会計予算を立てて頂くようお願いいたします。

また、年度末が近づいていることにより、決算の準備も進めてください。

円滑な法人事務を遂行する上からも、適切な会計等の処理をお願いいたします。



学生担当委員会

「立教184年

春の学生おぢばがえり」

今年「春の学生おぢばがえり」は、団体での帰参はせず、左記の通り、2つの行事で行われます。

記

「道の学生おぢばがえり推進期間」

【2月1日～3月25日】

教区学生担当委員会としての引率は致しません。個人や家族、教会単位でのおぢばがえりをご案内させていただきます。



学生帰参報告ページ

また、ウイルス感染防止のため、期間内の「帰参報告書投函ボックス」は設置せず、Web Happiness内の「学生帰参報告ページ」にて報告をお願いいたします。

「道の学生オンラインの集い」

【3月28日 10時30分】

本部学生担当委員会より配信される「春まつり」「式典」を、個人で視聴頂くようご案内します。その後の「団体アワード」は、教区学担としてラインを利用したオンラインでの集いを計画中です。詳細は3月にお知らせします。



献血推進委員会

「教区献血推進研修会」

【3月2日】

平素は教区献血推進の活動の上にお力添えを賜り、誠にありがとうございます。当委員会は、「献血も素晴らしいひのきしん」というスローガンのもと、地域社会におけるひのきしん活動の一環として取り組んでいます。

献血ひのきしん活動の一層の充実を期する上から、左記の通り本年度の研修会を開催します。教会長・布教所長の参加はもとより、ようばく・信者の方々に声掛けくださるようお願いいたします。

記

- 主旨 血液事業の現状と課題を把握し、献血ひのきしんの推進に役立てる。
- 日時 3月2日(火) 10時～11時
- 場所 教務支庁
- 講師 岩手県赤十字血液センター 献血推進課長
- ※2月28日(日)までに、委員長・門間に各支部の参加者数の連絡をお願いします。